

社保協が市と国保問題で懇談 資格証明書発行中止・税減免などを要請

利根沼田社会保障推進協議会は、21日沼田市役所内で、市民部の部課長などと国民健康保険の問題点などについて懇談しました。

事前に国保の状況について「アンケート」に記入された資料にそって質疑や要望が出されました。「資格証明書は91通発行されているが、病気になっても全額負担では病院にかかれないので、発行を中止して」、「自己負担3割分も払えない人が増えている、法律に沿って減免規定をつくって」、「滞納徴収が厳しすぎる、市民の実情をもっと配慮して」などの要望が出されました。



市民部課長（正面右）などと懇談する参加者のみなさん

資格証明書の特別な事情には病気・負傷も含まれる

資格証明書のウラ面に「災害等の特別な事情が生じたとき・・・速やかに申し出て」となっていますが、世帯主や親族が病気や負傷をしたときも含まれます（施行令第1条）ので、届ければ保険証が発行されます。

県消防沼田4分団（薄根）が優勝



第21回県消防ポンプ操法競技大会は、18日前橋市の県消防学校で開催され、ポンプ車の部で沼田市第4分団（薄根地区）が優勝し、10月に東京で開催される全国大会への出場を決めました。

第1分団（旧沼田地区）は、惜しくも準優勝でした。

第32回 平和のための戦争展を開催

8月18・19日沼田市中心公民館において、第32回「平和のための戦争展」が開催されました。

今回は、原発事故を受けて、福島から避難している丹治杉江さんの、「原発事故の起きた福島から見えること」と題した講演が行なわれました。

また、事故が多発し配備反対運動が活発に展開されている「オスプレイ」に関する資料展示が行なわれました。



展示資料を熱心に見る入場者のみなさん

日本共産党県市町村議が研修

日本共産党群馬県委員会は19日、党の県議、市町村議の合同研修を伊香保温泉栄泉閣で開催しました。

午前の部は、「県政懇談会」で伊藤祐司、酒井宏明両県議から、2012年度の県予算編成に対する要望書の内容が説明され、それらに関連して各市町村議員から質問や要望が出されました。

井之川博幸議員は、放射能問題で、子どもや妊産婦に対する甲状腺などの健康診査を県で実施するよう要請してほしいと要望しました。

午後の部は、中西啓之元都留文化大学教授を講師に、「予算・決算

の見方、考え方と国・地方の財政をめぐる情勢」と題しての講演を受けました。



2012年8月26日 No.622

いのさんニュース

発行所沼田市中久屋町983 ☎23-1519

井之川博幸議員活動地域版部内資料